

# 安定供給システム販売（後期）申請書

平成22年 月 日

四国森林管理局長 殿

住 所  
商号又は名称  
代表者氏名

印

記

## 1 安定供給システム販売に係る事業計画

### (1) 事業計画の概要

別紙2様式「企画提案書」、別紙2-1様式「購入希望物件記入表」、別紙2-2様式「流通・加工コスト調査票」、別紙2-3様式「システム購入材利用計画書」を添付します。

### (2) 「製材工場等」 平成22年度事業計画

ア 平成22年度 原木消費計画 (単位：m<sup>3</sup>・トン)

四半期 樹材種	第1四半期 (実績)	第2四半期 (見込)	第3四半期	第4四半期	計

※樹材種の把握が困難な場合は「素材」でも可

イ 平成22年度 木材加工品加工計画 (単位：m<sup>3</sup>・トン)

四半期 加工品内訳	第1四半期 (実績)	第2四半期 (見込)	第3四半期	第4四半期	計

ウ 平成22年度 木材加工品出荷計画

(単位：m<sup>3</sup>・トン)

加工品 内訳	出荷先	前期より の越	第1四半 期(実績)	第2四半 期(見込)	第3 四半期	第4 四半期	計

(3)「原木市場等」 平成22年度事業計画

ア 平成22年度 原木入荷計画

(単位：m<sup>3</sup>)

樹材種 四半期	第1四半期 (実績)	第2四半期 (見込)	第3四半期	第4四半期	計

※樹材種の把握が困難な場合は「素材」でも可

イ 平成22年度 原木出荷(販売)計画

(単位：m<sup>3</sup>)

樹材種 四半期	第1四半期 (実績)	第2四半期 (見込)	第3四半期	第4四半期	計
計					

※樹材種の把握が困難な場合は「素材」でも可

ウ 平成22年度 原木販売計画

(単位：m<sup>3</sup>)

用途	出荷先	前期より の越	第1四半 期(実績)	第2四半 期(見込)	第3 四半期	第4 四半期	計

※原木市場は四半期毎の販売計画数量を記入(用途・出荷先)は不要

2 事業内容（申請時前年度実績）

(1) 「製材工場等」 平成21年度 原木消費量実績

ア 原木の入荷量、消費量（出荷量）、在荷量

区 分		数量（m <sup>3</sup> ・トン）
当年度初		
当 年 度 入 荷 量	国有林材	
	その他国産材	
当年度消費量		
年度末在荷量		

イ 主加工品生産量、販売量、在荷量

区 分	品名（ ）	品名（ ）	品名（ ）
	数 量(m <sup>3</sup> ・トン)	数 量(m <sup>3</sup> ・トン)	数 量(m <sup>3</sup> ・トン)
当初在荷量			
当年度生産量			
当年度販売量			
当年度企業内消費			
年度末在荷量			

注) 加工品で購入したものは、( ) 外書きとする。

ウ 加工品販売の種類別内訳量、主な出荷先及び売上高

種 類	数 量(m <sup>3</sup> ・トン)	主な出荷先	売上高(千円)
計			

注) 外の業種へ販売した場合は、主な出荷欄に業種を記載する

(2) 「原木市場等」 平成21年度 原木消費量実績

ア 原木の入荷量、消費量（出荷量）、在荷量

区 分		数量（m <sup>3</sup> ）
当年度初		
当 年 度 入 荷 量	国有林材	
	その他国産材	
当年度消費量		
年度末在荷量		

イ 原木の用途別販売内訳量、主な出荷先及び売上高

用途（樹材種）	数 量（m <sup>3</sup> ）	主な出荷先	売上高（千円）
計			

※原木市場は樹材種別販売実績を記入（主な出荷先）不要は

(3) 決算諸表（（貸借対照表、損益計算書、納税証明書）初めて申請される者は2カ年分）、  
社会保険の加入状況、別紙のとおり添付します。

(4) 資格関係

ア 林産物売払い一般競争参加資格整理番号（ ）

イ J A S 認定設定番号（ ）

3 その他

(1) 販売取引協定

別紙のとおり添付します。